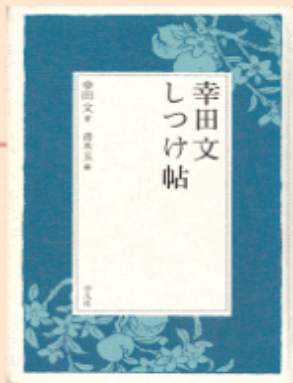




図書館員が選ぶ この一冊

17

『幸田文しつけ帖』幸田文／著
青木玉／編 平凡社



幼い頃に母を亡くした文子は、父から家事や礼儀一切の教育を受けた。掃き掃除は箒を直して行う、拭き掃除はバケツの水量に注意する、障子の張り替え、雑草の抜き方、挨拶やお化粧の仕方、はては恋のイロハに至るまで。反抗し面倒くさがりながらも、覚えていった日々を思い出し綴った晩年のエッセイ集。

明治の文豪幸田露伴と娘文子の、厳しくもどこかユーモラスな親子関係が、著者の美しい日本語で紡がれる。露伴の深い愛情と日本の丁寧な暮らしの知恵が、時代を経て現代の私たちにも伝わってくる。編集を文子の娘青木玉が担当。